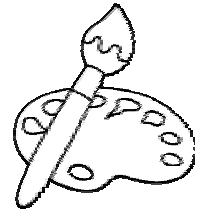


第5学年「図工科」シラバス

5年生ではこんな学習をします



学習の目標

身のまわりのものの色や形に関心を持ち、楽しく作ったりかいたりする態度を育てます。

材料や用具を生かして、色や形で表現したいことを発想する力をつけます。

材料や用具を使って、表現に適した方法を組み合わせて表し方を工夫する力をつけます。

自分なりの見方や感じ方で作品のよさや美しさに親しむ力をつけます。

学習の方法

友達の作品を見たり、美術の様々な表現に触れたりする事で、造形意欲を高めるようにします。道具などを選んだり、色づかいや構図を工夫したりして表現します。

電動糸のこぎりなどの用具の使い方を理解し、正しく安全に使えるようにします。

友達の作品を鑑賞し合い、よさを認め合います。

総合的な学習と関連を持たせて、幅広い活動ができるようにします。

学習の評価

図工科では、次の観点で評価します。

学ぶ意欲・態度

活動に取り組む様子・学習用具や材料の準備・作品などの提出物等

発想・創造する力

発言・設計図・作品等

技能

用具の使い方・作品等

鑑賞する力

発言・鑑賞カード等

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前期 24時間	1 心に残ったことを	自分の生活を振り返って、心に残ったことを絵に表します。
	2 粘土の板をつくって曲げてねじって	いろいろな形の粘土の板を、つくって、曲げたりねじったりして作品をつくります。
	3 絵を動かして動くよ動く絵が動く	いろいろな動く仕組みのおもしろさを生かして、楽しい物語や絵をつくります。
	4 想像したことを表して心広がる場面	本を読んだり、話し合ったりして思いうかんだことや想像したことなどを絵に表します。
	5 きょうかしよびじゅつかん	よく見たり、向きを変えたりすると不思議な見え方をする作品を鑑賞します。
後期 26時間	6 電動糸のこぎりを使って板をくりぬいて	電動のこぎりなどの道具を正しく安全に使い、構成を工夫して作品を作ります。
	7 身近な材料を組み合わせて	いろいろな材料を使って、みんなで遊べる楽しい作品をつくります。
	8 木版画(ぼって刷って)	心に感じたこと、心に残ったことを木版画の特徴を生かして表します。
	9 きょうかしよびじゅつかん	外国の人たちにも影響をあたえてきた日本のアートを鑑賞します。
	10 ここでパチッ	コンピュータなどの機器の特性を生かして造形活動の幅を広げ作品を仕上げます。

